

**平成 19 年度**

**消防局予算要求方針**

# - 目 次 -

1	平成 19 年度消防局予算要求総括表	1
2	19 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	3
	「安全と安心を誇れる街さっぽろ」	
	(1) 経営資源の充実	
	(2) 各種災害への対応力の強化	
	(3) 救急救命等の充実	
4	事務事業の見直し等	6

# 1 平成 19 年度消防局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 A	平成 19 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
総務部	5,279 (4,396)	5,162 (4,126)	117 (270)	2.2% (6.1%)
常備消防費	3,677 (3,552)	3,681 (3,526)	4 (26)	0.1% (0.7%)
非常備消防費	366 (327)	458 (326)	92 (1)	25.1% (0.3%)
消防施設整備費	1,236 (517)	1,023 (274)	213 (243)	17.2% (47.0%)
合 計	5,279 (4,396)	5,162 (4,126)	117 (270)	2.2% (6.1%)

1 ( )内は一般財源額

2 項目ごとに四捨五入を行っているため、総額と内訳が一致しないことがある。

## 2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

### 「安全と安心を誇れる街さっぽろ」

市民の皆様が、毎日を安全・安心に暮らすことのできる街づくりに向けて、第1に災害を未然に防ぐこと、第2に災害発生時には迅速・的確に対応すること、この2点を念頭におき、「安全・安心を誇れる街さっぽろ」の創造を目指し、19年度予算は、次の3つの施策を柱として、消防・防災体制を充実していきます。

#### 1 経営資源の充実

施設・車両について、計画的な改修や更新を行い、保有する経営資源の更なる有効活用を図ります。

#### 2 各種災害への対応力の強化

テロ災害や大規模災害などの特殊災害に対応する特別高度救助隊の充実を図り、あらゆる災害への対応力を強化します。

#### 3 救急救命等の充実

心肺停止傷病者に対し、気管挿管、薬剤投与（アドレナリン）ができる認定救急救命士を引き続き育成し、救急体制の充実を図り、救急業務の高度化事業を推進します。

### 3 予算要求の重点事項

「安全と安心を誇れる街さっぽろ」

#### 1 経営資源の充実

880百万円(845百万円)

注:( )内は18年度予算額

ア 消防署所庁舎保全改修(総務部) 84百万円

消防・防災活動の拠点として位置づけられている署所の機能を維持するために、庁舎の保全改修を行う

イ 消防車両購入(総務部) 465百万円

長期使用に伴い、機能低下が著しいなど、使用に耐えられない消防車両11台の更新を行う

ウ 豊平消防署改修費(総務部) 331百万円

豊平消防署の耐震化・大規模改修を行う(継続費総額656百万円)

#### 【成果指標】

ア 消防施設の改修施設数 【目標】2施設 2施設

【19年度効果】±0施設

イ 消防車両の更新台数 【目標】8台 11台

【19年度効果】+3台

## 2 各種災害への対応力の強化

9 6 百万円( 3 9 百万円)

注:( )内は 18 年度予算額

ア 特別高度救助隊整備(警防部) 5 7 百万円【レベルアップ】

特別高度救助隊(スーパーレスキューサポート)に探査装置などの高度救助資材を整備し、消防活動体制の強化を図る。

イ 耐震性貯水槽整備(警防部) 3 9 百万円

阪神淡路大震災を教訓に、大規模地震災害などの発生時における消防水利として耐震性貯水槽を整備する。

### 【成果指標】

ア 特別高度救助隊の高度資機材充足率 【目標】0% 100%

【19年度効果】+100%

イ 耐震性貯水槽の整備数(100 m<sup>3</sup>公設水槽、延べ基数)

【目標】48基 50基

【19年度効果】+4.2%

### 3 救急救命等の充実

4 8 百万円( 4 2 百万円 )

注 : ( ) 内は 18 年度予算額

救急業務高度化推進 ( 警防部 )

4 8 百万円

救急救命士による<sup>1</sup>気管挿管や<sup>2</sup>薬剤投与の実施など、救急業務の高度化に向けた体制整備や資器材の導入を図る。

#### 【成果指標】

各種講習受講者数 ( 延べ )

ア 気管挿管病院実習

【目標】 3 6 人      5 1 人      【19 年度効果】 + 1 5 人

イ 薬剤投与講習

【目標】 8 3 人      1 0 3 人      【19 年度効果】 + 2 0 人

ウ 気管挿管・薬剤投与セット講習

【目標】 0 人      2 0 人      【19 年度効果】 + 2 0 人

---

<sup>1</sup>気管挿管・・・気管挿管とは、心肺停止の傷病者の肺につながる気管に直接チューブを挿入して気道確保するもので、62 時間の講習と手術室で 30 症例の実習を修了した救急救命士が、平成 16 年 7 月 1 日から実施可能となったもの。

<sup>2</sup>薬剤投与・・・薬剤投与とは、心臓停止の傷病者の救命に寄与するアドレナリンという強心剤を使用するもので、170 時間の講習と 50 時間の病院実習を修了した救急救命士が平成 18 年 4 月 1 日から実施可能となるもの。

## 4 事務事業の見直し等

### (1) 事務事業の見直し

#### 内部効率

##### 一般事務費等の節減

<見直し額 3.5 百万円>

##### 施設維持管理業務の契約内容等の見直しによる節減

<見直し額 4 百万円>

##### 本市の環境方針に基づく光熱水費の節減

<見直し額 1 百万円>